

# スティグマからの脱却 ―国内外のタトゥーとその変化―

氏名：鈴木輝也

本研究の目的は、日本におけるタトゥーがどのような歴史を辿り現代のタトゥー文化形成に至ったのか、また海外のタトゥー文化や歴史と比較する事によって、現在の日本のタトゥー文化が今後どのように変化していくのかを考察する事である。そして、実際に海外のタトゥー文化事情についてもインタビューを行い、私たちのイメージとの相違があるのか調査をする。

元来日本においてタトゥーを入れる文化が存在しており、現在のアメリカのように日常としてタトゥーが扱われていたが、明治時代にタトゥーが政府によって禁じられタトゥー文化が消滅した。その後 GHQ の占領によって禁止令は解除されたが、戦後の日本社会では暴力団関係者に代表される社会的シンボルへと変貌していった。本稿では、タトゥーが悪とされている現代日本社会において、今後スティグマから脱却し、受容が促進されるか否かを検討していく。